

本社  
General Electric Company  
3135 Easton Turnpike  
Fairfield, Connecticut 06828, U.S.A  
[www.ge.com](http://www.ge.com)

日本GE株式会社  
〒107-6115  
東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル  
03-3588-5280 (大代表)  
[www.ge.com/jp](http://www.ge.com/jp)

# We are GE in Japan

Company Profile



## CONTENTS

- 4 GE Today
- 6 ecomagination
- 8 healthymagination
- 10 Business in Japan
  - In Japan For Global
  - Innovation with Japan
  - Sustainable Cities
- 14 Citizenship

## この世界が直面している さまざまな課題を解決するために。

環境破壊や地球温暖化、エネルギー問題・・・

私たちは世界経済の変動、人口構成や環境の変化に伴う様々な課題を抱えています。  
世界が直面する、こうした困難な課題の解決に貢献する企業でありたい。  
それが、私たちGEの信念です。

GEは、150か国で事業を行うグローバルな規模、29万人の人材、  
そして長い歴史とともに培った事業経験を活かし、  
革新的な技術やサービス、金融ソリューションをお届けしています。  
また、今日の重大な課題を見据え、2つのイニシアチブに経営資源を集中させています。  
環境分野を対象にした「エコマジネーション」と  
医療分野を対象にした「ヘルシーマジネーション」です。  
困難な課題の解決には、技術イノベーションが欠かせません。  
これを加速するためには、オープン・イノベーションが重要な鍵となります。  
テクノロジーの宝庫であるここ日本で、私たちは過去1世紀にわたり  
数多くの企業とのパートナーシップにより共に先進的なソリューションを生み出してきました。  
今後も日本のお客さまとの絆をさらに深め、優れたソリューションをご提供するだけでなく  
世界の課題解決に役立つイノベーションの創造に注力します。

2011年には未曾有の災害が東北地方を襲い、復興という課題に直面しています。  
また、日本は世界でいち早く超高齢社会を迎えました。  
世界にさきがけた「新しい街・社会」の実現、という形でこれらの課題を解決するために  
私たちは社員の力を結集し、技術とアイデアをご提供してまいります。



日本GE株式会社  
代表取締役社長兼CEO  
マーク・ノーボン

A blue ink handwritten signature, appearing to read 'Mark Nozawa', written in a cursive style.

# GE Today

## 新たな時代を導くために、必要なもの。

GEは、世界が直面する困難な課題の解決に貢献する先進の技術力とサービス、そして金融ソリューションをお届けする企業です。創業者であるトーマス・エジソンの時代から、GEの不変の企業姿勢は**Imagination=想像力**を核に世界が必要とするイノベーションを創り、届けること。この企業姿勢はそのままに、経済や人口、あらゆる側面で世界の枠組みが大きく変わった今、過去の論理を越えた新たなイニシアチブを推し進めることで困難な課題の解決に貢献し、世界を、社会を、新たなステージに導きます。

## インフラストラクチャーと専門金融サービス。 2つの分野を基軸に、お客さまそして社会への貢献を目指します。

私たちGEは、2つの強力なビジネス・エンジンを備えています。ひとつは、クリーン・エネルギー、オイル&ガス、ウォーター（水処理）、ヘルスケアといった、これからの社会に不可欠な領域において、革新的な技術と製品を提供する「インフラストラクチャー分野」。そして、広範な業界に精通した高い専門性を活かし、最適な投資を行う「専門金融サービス分野」。これら2つを相乗することによって、お客さまのビジネスの成長と成功をサポートするとともに、世界が直面する困難な課題を解決するための、多彩なイノベーションを生み出し続けています。



## 成長を実現する、6つの優先事項

新興国の急激な経済成長や人口増、先進国における高齢化、環境変動、そして完全にリセットされた世界経済。絶え間ない激しい変化のなか確実な成長を果たすことは、世界の課題解決策を提示し続けるための、次なる投資の源泉となります。GDP成長率の2~3倍の内部成長を実現するために、GEは6つの優先事項に取り組んでいます。

### 卓越した技術を用いた新製品

技術分野でのリーダーシップを発揮し続けるため、従来からの強みである技術投資、人材、リスクを恐れない開発姿勢を継続します。GEでは約4万人の優秀なエンジニアがイノベーションに取り組んでおり、現在5つ目のグローバル・リサーチ・センターを建設中です。

### サービス&ソフトウェアの充実

お客さまのリアルタイムな意思決定、コスト削減、収益性拡大に寄与するサービスやソフトウェアを提供することは、各産業の発展や生活の質の向上に繋がります。こうしたサービスを提供するため、GEの専門知識や世界で培った経験、将来への洞察力をフルに活かします。

### 成長市場におけるリーダーシップ

GEは事業内容の幅広さ、グローバルな事業力といった強みを活かし、世界中の市場をリードしています。ロシア、中東、ラテンアメリカといった資源国や中国、インドなどの成長市場との強固な関係を基盤に、調査研究、技術、人材・事業を展開することで成長を加速します。

### 熟知する市場で事業を拡大

GEが長い事業経験を持ちグローバルな販売、流通、調査能力を誇るエネルギーや医療といった分野で、再生可能エネルギー、オイル&ガス、水処理、生命科学といった新事業を過去10年で年間売上200ドルの事業に育てました。同じ方法で、さらに20の新規プロジェクトを進めています。











### 専門金融から新たな成功を

産業分野と金融分野の両輪を持つことは、GEの大きな強みです。業種別の広範な専門知識を活かし、中小規模の企業さまに最良の製品やサービスを提供するだけでなく、他の金融サービス企業とは一線を画す実務的な洞察によって、お客さまの成長と成功を支援します。

### お客さまと社会の課題を解決

クリーン・エネルギー、より身近な医療、スマートな資金活用。切迫している課題の解決に貢献すべく事業に取り組み、ecomaginationとhealthymaginationのふたつのイニシアチブを推進しています。こうした取り組みは、問題解決と同時に人類の進歩にも繋がっていきます。

## イマジネーションの歴史

<b>1879</b>  エジソン、初の炭素フィラメント式白熱灯を発明	<b>1927</b>  世界初の家庭向けテレビ放送を放映	<b>1941</b>  米国初の航空ジェットエンジンを開発	<b>1976</b>  わずか5秒で詳細な断面X線写真が撮影できるCTスキャナーを開発	<b>1992</b>  NASAによるGE製火星探査機打ち上げ	<b>2003</b>  世界最高レベルの高効率化を実現したガスタービン、Hシステムを導入	<b>2004</b>  世界初のボリュームCTであるLightSpeed VCT開発	<b>2005</b>  環境問題解決と企業としての業績拡大を同時に追求するecomagination開始	<b>2008</b>  燃費と静音性に優れた環境配慮型次世代航空機エンジンGENx開発	<b>2009</b>  誰もが健やかな生活を送ることのできる未来を実現すべくhealthymagination開始
---	---	--	---	--	---	---	---	--	--

# ecomagination

## それは、21世紀との約束。

「ecology=環境」と「economy=経済」。  
 世界が直面する深刻な環境課題の、真の解決を実現するためには、持続可能な形での展開、つまりふたつのecoの両立が重要です。そして、それを可能にするのがイマジネーションの力。これらをひとつにまとめあげ、環境問題に対する革新的なソリューションを創造すること。そこから生み出される、価値ある製品やサービスを通して、お客さまとともに成長し、未来をよりよいものにしていきたい…。エコマジネーションとは、そんなGEの信念が結晶したよりよい21世紀のための取り組みです。



## エコマジネーション 5つのコミットメント

このイニシアチブを開始した2005年、「事業性」と「環境へのインパクト」という視点から5つのコミットメントとして各項目に5年後の達成をめざす数値目標を定め、その達成を実現しました。私たちは今、最初の5年間で達成した数値を2015年までに全て倍増させるという新たな目標を掲げています。世界の課題に対するソリューションの創造。この取り組みは、毎日、加速を続けています。



**エコマジネーション 関連の R&D投資額倍増**  
 2010年までにエコマジネーションに関するR&D年間投資額を15億ドルに倍増するという最初の目標を、1年前倒しで達成。新たな技術の開発に取り組むため、2015年までにR&D費を2009年実績の50億ドルから100億ドルに倍増します。

**エコマジネーション 製品の売上増**  
 はじめの5年間の関連製品売上高は850億ドルに達しました。2015年までに全社売上高成長率の2倍の成長ペースとすることを旨とし、関連製品の売上高が総売上高に占める割合をさらに高めます。

**温室効果ガス (GHG) 排出量削減と エネルギー効率の向上**  
 2004年比で、自社のGHG排出量を22%削減、エネルギー強度34%改善、GHG強度3%削減を達成。新たな目標値として、2015年までにエネルギー強度50%改善、GHG絶対排出量25%削減を設定しました。(目標値は2004年比)

**水消費量削減と 水再利用の促進**  
 2008年5月に発表した、自社における水使用量を2012年までに2006年比で20%削減するという目標を、2010年に上方修正。新たな目標として2015年までに25%削減するという数値を掲げました。

**皆さまへの情報公開**  
 エコマジネーションの成果をアナニュアルレポート、ウェブサイト、国際会議など様々な機会を通じて開示しています。社会との対話や議論を続けることで、企業としての透明性を高めるとともに、環境関連市場の拡大をリードします。

## 主な研究開発分野

環境問題の解決にあたっては、将来的な課題に対応する新技術の開発が不可欠です。GEでは、自社内における研究開発のみならず、他企業や外部機関とのパートナーシップによるオープン・イノベーションにも注力し、以下の分野で長期的な開発プロジェクトに取り組んでいます。

- エネルギー効率向上**
  - 電力貯蔵
  - 輸送手段
  - 発電所
- 低炭素発電**
  - 再生可能エネルギー
  - 石炭ガス化複合発電 (IGCC)
  - 原子力発電
- 低炭素社会へ**
  - CO<sub>2</sub>回収
  - バイオマス発電
  - 燃料電池

## 主なエコマジネーション認定製品

エコマジネーションは、GEの事業ポートフォリオすべてにまたがる包括的なプロジェクトです。2005年のスタート時、その数は17だった認定製品も、現在では110以上の製品やソリューションへと拡大しました。2010年の環境関連の研究開発費は18億ドルに上り、環境関連技術の創造に一層の力を注いでいます。



# healthymagination

## より身近で、質の高い医療を、より多くの人々に

ヘルシーマジネーションは、「世界が直面する難題を解決する」という  
エコマジネーションと同じ精神から生まれた取り組みです。

「誰もが健やかな生活を送ることのできる未来」を実現すべく、  
100以上ものイノベーションに60億ドルを投資。



また、日本では、世界に先駆けて、超高齢化社会に直面している今、  
患者さんにとって本当に必要な医療を、体系的に見つめ直す時が来ています。

私たちGEはこうした課題に最適な答えを出し続けたい。

私たちが目指すヘルシーマジネーションは、ここから始まります。



### ヘルシーマジネーション2015年までの達成目標

<p>医療の質15%向上</p>  <p>Quality</p> <p>最良の医療行為を追求することにより、医療の質と効率の向上に貢献したいと願っています。</p>	<p>医療のアクセス15%拡大</p>  <p>Access</p> <p>低コストによる医療技術の革新、啓発、金融支援などにより、人々がよりよい医療に接する機会の提供につとめます。</p>	<p>医療コスト15%削減</p>  <p>Costs</p> <p>GEがこれまでに培ってきた技術とサービスにより、医療行為・医療システム全体のコスト削減をサポートします。</p>
---	--	--

### 目指すのはEarly Health

もしも、この世から病気の苦しみや不安がなくなり、人々の健康が生涯にわたって約束されるとしたら…。まったくの夢物語に聞こえるかもしれませんが、「病気になる前から治す」のではなく「発病する前に」兆候を発見したり、個々人の遺伝性素因に合わせた予防医療をデザインできれば、夢に一歩近づくことができます。そんな新時代の医療を「Early Health」という言葉に込め、画像診断技術とライフサイエンス支援技術の革新と融合を進めています。

### 最良のイノベーションを目指して

日本の医療現場が直面する様々な課題解決に貢献できるよう、急務であるイノベーションに集中的に取り組んでいます。

<p><b>地域に適した技術開発</b></p>	<p>「In Japan for Japanコンセプト」に基づき、国内の医療機関の皆様の声を参考に、独自技術を駆使した製品の開発・製造に積極的に取り組んでいます。</p>
<p><b>医療IT</b></p>	<p>政府方針の“ライフ・イノベーション”の具体化へのサポートとして、医療ITにも力を入れています。例えば、情報の有効利用や病院運営の効率化を図る院内ITインフラの構築、地域連携医療の実現を目指した病院連携サポートなど、GEの最先端ソリューションを提案しています。</p>
<p><b>格差のない医療提供</b></p>	<p>最新医療領域の研究開発にも挑戦しています。例えば、これからの医療として注目を集める再生医療の基盤技術構築や個別医療への画像診断応用など、GEは持っている力を最大限に生かし、医療の明日を広げています。</p>
<p><b>在宅医療</b></p>	<p>高齢化社会を迎え、がんをはじめとする四大疾患に加え、認知症や骨折など寝たがりの原因となるような疾病が増加するなど疾病構造に変化がみられ、在宅医療へのニーズはますます高まっています。GEは製品の小型軽量化、低価格を図った革新的な製品を相次いで導入しています。</p>

### まず社員の意識から変えるHealthAhead

GEでは、社員の健康維持・増進をさらに推進するため、新しく「ヘルスアヘッド（HealthAhead）」を立ち上げました。これは、社内に「健康的なカルチャー」を構築していくための継続的な長期プログラムで、運動、栄養、ストレス・マネジメント、禁煙など、様々な観点から社員の健康をサポートするもの。新しいツールやインセンティブ、教育プログラムを通じて、楽しみながら健康になれるよう設計されています。

### ヘルシーマジネーション対応製品

ヘルシーマジネーションに基づく数々のイノベーションのいくつかは、すでに具体的な製品としてその成果を世界へご提供しています。今後も、数多くのパートナー企業とともに、全ポートフォリオの実現に向け積極的に取り組んでまいります。



# Business in Japan

## 日本発、新たな未来へ。

GEの創業者であるトーマス・エジソンが100年以上も前に白熱電球のフィラメントを京都の地に求めて以来、私たちにとって日本はずっと大切なパートナーです。今日に至るまで、日本の社会や産業の礎となる技術イノベーションを数多く手がけてまいりました。世界が抱える難問を解決するイノベーションを生み出すために、日本との絆は欠かせないものだと考えています。GEは、日本の皆さまとひとつになり、未来を切り開いていきます。

## 日本とともに歩んできたGE、100年以上もの歴史。

日本が近代国家の形成を目指した明治のころから、GEは製品・サービスを通じて、社会や産業の発展に貢献し、ともに歩んできました。

-  1879 エジソンが最初に発明した白熱灯のフィラメントに京都の竹が使われる
-  1886 日本政府の印刷工場に発電機を納入
-  1895 日本初の電気に電動機を納入
-  1903 東京に販売事務所を開設
-  1923 日本最初の街灯を名古屋に設置
-  1960 日本ゼネラル・エレクトリックを設立(現:日本GE)
-  1962 初の民間用航空機エンジンを受注
-  1963 GEの原子炉を使って、日本初の原子力発電が始まる
-  1982 横河電機との合併で横河メディカルシステムを設立(現:GEヘルスケア・ジャパン) 自社開発による全身用CT撮影装置を販売
-  1988 GEのコンバインドサイクル発電システムを導入した東京電力・富津火力発電所が完全操業開始
-  1997 日本における不動産事業を開始
-  1999 法人向け金融サービス事業を本格開始
-  2000 医療専門のファイナンス事業を創設
-  2005 PET検査用診断薬事業に進出
-  2008 日本で開発したMRI(磁気共鳴断層撮影装置)がGE製の医療機器で初めてecomagination認定を獲得
-  2011 富士電機との合併でGE富士電機メーター株式会社を発足

# In Japan For Global

## 日本から、グローバルなアンサーを。

世界のものづくりをリードしてきた日本。その優れた開発・製造技術、チーム・ジャパンのクオリティが、今また世界で高い注目を集めています。日本のお客様の高度なニーズにきめ細やかに対応した新たなイノベーションが、国内のみならず、グローバル市場に対する最適なソリューションとして世界各地で高い評価を獲得しています。

## 世界の医療市場が認めた、日本の開発陣の圧倒的な技術力。

米国GEで開発した新製品を各地域に展開する…という、これまで主流だった開発の流れに、新しい変化が起きています。世界の各地域・拠点で開発された製品を、グローバル市場に展開していく。その好例が、高い性能を維持しながらもコンパクト性、低ランニングコストを同時に実現した、コンピュータ断層撮影装置「Optima CT660」および、磁気共鳴断層撮影装置「Signa HDc」とその後継機となる「Optima MR360 / Brivo MR355」です。かねてより日本の医療環境が抱えていた、施設内スペースの限界、経営コスト削減といった課題に応えるべく、GEヘルスケアの日本の開発陣が手がけたこれらの装置は、国内市場のみならず、グローバル市場にも広く受け容れられ、日本の高い開発・製造技術が世界の賞賛を浴びました。

省スペース、経済性はもちろん、患者さんや操作者への配慮も。

全世界から500台以上を受注。オリンピック公式MRにも採用。



Optima CT660

現在、日本におけるCTの人口比設置台数は世界ナンバーワン。市場規模も世界第3位を誇っており、豊富なCT利用実績を通して医療機関から細やかなニーズを取り込める環境が整っています。「Optima CT660」はこうした数々の声に応えるべく、日本開発陣が一丸となって手がけた熱意の結晶です。64列高性能CTでありながら、従来のGE製品に比べ最小設置面積を約12~24%、必要電源容量も16列以下CT並みの75kVAに抑えるなど高いスペース効率・経済性を実現。さらに、小児から高齢者まであらゆる患者さんの安心感を高めるカラーモニターや、検査で最も時間を要する操作をセミオート化し、専任操作者以外でも対応可能とするなど、これまで重視されてこなかった部分にも注力し、CTの目指す新しい基準を世界に示しました。



Signa HDc

Brivo MR355

1.5テスラMRIとしては、世界で初めて専用機械室をなくしたコンパクトな設計を実現。既存のGE製品と比べ30%の省スペース、さらにエネルギー消費量を41%削減するなど、日本の医療機関のニーズをクリアした高いパフォーマンスが全世界で評価され、発売以降3年間で世界中から500台以上もの受注を達成しました。2006年にグッドデザイン賞、2007年には『Business Week』誌主催のデザイン大賞を受賞。2008年の北京オリンピックでは選手村公式MRとして採用されるなど、各方面から高い評価を獲得しています。この「Signa HDc」をベースに経済性を一段と進化させつつ、さらなる操作性向上と性能強化を実現した後継機「Optima MR360 / Brivo MR355」もすでに市場投入されており、世界各国で稼働しはじめています。

# Innovation with Japan

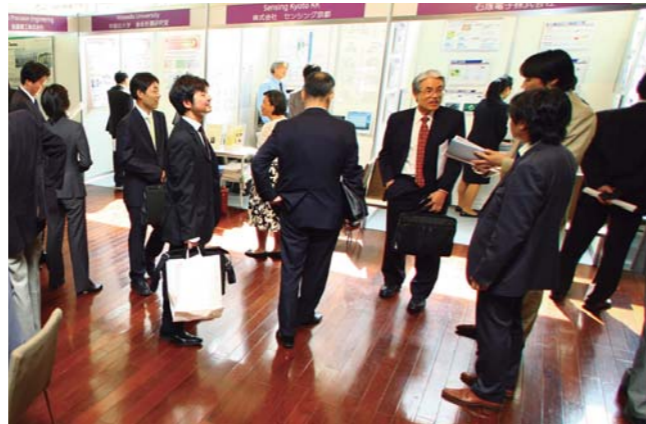
## 日本の優れた技術の世界へ。

GEは、常に日本の技術力の高さに注目してきました。それは、優れたテクノロジーを持つ企業が、規模の大小を問わず数多く存在するからです。こうした企業とパートナーを組み、世界各地の困難な問題を解決する。このことこそが、GEの重要な責務だと考えています。そこで私たちは、ジャパン・テクノロジー・イニシアチブを展開しています。日本の高い技術力と、GEのノウハウを相互にメリットがある形で融合させ、そこから生まれた革新的な製品やサービスを世界各地に届けます。

## 日本の優れたイノベーターとの出会いこそ、革新の源。

GEは、日本企業との技術連携を重要な戦略のひとつとして位置づけ、技術面での相互補完的なパートナーシップ構築に積極的に取り組んでいます。その一例が、日本の先端技術の成長を支援するとともに、具体的な協業機会の創出を目的に開催している「ジャパン・テクノロジー・フォーラム」。2回目となった2009年のフォーラムでは、事前選考によって選ばれた53社が参加し、現在までに17社と用途検討がなされ、その一部企業とは具体的な協業が進んでいます。また、日本GEのWebサイト上には、規模の大小を問わずパートナーシップを希望する企業からの公募窓口を常時開設。日本の優れた技術力とGEのノウハウが出会うオープンな場を提供しています。

ジャパン・テクノロジー・イニシアチブの詳細：[www.ge.com/jp/technology](http://www.ge.com/jp/technology)



## 富士電機との合併で新時代のスマートメーターを開発。

スマートグリッドの技術開発や実証実験を世界で進めてきたGEは、日本国内でメーター事業の長年にわたる実績を持つ富士電機ホールディングスと新会社を設立。低炭素化に大きく寄与するスマートグリッドの実現に向け、スマートメーターの開発、製造、販売に取り組んでいます。スマートメーターは、従来の計量機能に加えて双方向の通信機能を有し、電力の使用状況を把握・管理・最適化するために重要な役割を果たすことが期待されています。



## NIMSとの研究協力で将来を支える先端素材開発を加速。

2011年夏、GEと独立行政法人 物質・材料研究機構 (NIMS) は、よりクリーンで、より持続可能なエネルギー・ポートフォリオ、および環境関連技術の促進に貢献する最新の材料科学分野において、実用化を視野に入れた共同研究を進める3年間の「マスター・リサーチ・アグリーメント (研究協力に関する主契約)」を締結。GEの先端材料応用の豊富な経験やグローバルな規模と事業化力、NIMSが誇る物質・材料研究における世界有数の科学的知見—これらを融合することで、先端素材を活用した、より優れた製品提供の実現を目指します。

# Sustainable Cities (持続可能な街づくり)

## 地域の課題を解決し、未来につながる街を

世界でもっとも早く超高齢化社会を迎えた日本。未曾有の大震災からの復興に取り組みなければならない東北地方。世界中の国や都市が、複雑で困難な問題を抱えています。GEは世界各国で持続可能な街づくりに取り組んでいます。ここ日本で、私たちが地域と共に築こうとしているのは環境と高齢化した社会に優しく、災害耐性が高い街。世界にさきがけた新しい街の姿は、世界の未来への答えになるはずです。

## 今こそ、その時。

急速に都市化が進んだ20世紀。今や世界人口の50%以上が都市に集中し、2050年にはこの割合が75%に達するとも見込まれています。この変化が地球の貴重な資源に大きな負荷を与えており、気候変動や経済上の問題も複雑に絡み合い、先行きが不透明だという声もあります。しかし、それは世界がまさに都市の未来を変える歴史的瞬間を迎えているのだと、私たちは考えます。GEでは各国の地方自治体と協力を図りながら、サステナブルシティ (持続可能な街づくり) の取り組みをグローバルに推進。次世代に持続可能な未来をつなく、新しい都市の実現を目指しています。

- エネルギーを自ら生みだし、効率的に使用する「未来型住宅・ビル」の実現。
- クリーンでムダのない電力が、効率的に供給される仕組みづくり。
- 高度な排水処理、水の再利用技術による、水の高効率利用。
- 環境汚染の大きな要因である交通機関のクリーン化により、生活の質を向上。
- 質の高い医療を、より多くの人にタイムリーに提供可能な医療基盤の構築。
- 適切な資金供給により、企業がさらに発展できる環境の実現。



## 宮城県とのパートナーシップ

かねてから環境分野における取り組みを他県に先駆けて進めていたほか、65歳以上の高齢者人口が21%を超える超高齢化社会を迎えた日本において、今後、多くの地域が直面する医師不足、医療環境の地域格差解消を喫緊の課題としていた宮城県。持続可能な街づくりのうえで「環境」と「医療」を重点分野に定めるGEと同県の方向性が一致したことから、2009年には同県内の地域企業との協業の可能性を探るイベント「GE Day in Miyagi」を、2011年には少子高齢化を克服する医療モデル創出のためのシンポジウムを開催したほか、様々な機会を通じてこれらの課題解決に向けた共通認識を深めてきました。2011年3月の大災害を経た今だからこそ、GEは東北地方の復興をこの宮城の地から強力に後押しするとともに、日本のみならず世界の指針となる街づくりに貢献して参ります。

宮城県とのパートナーシップの詳細：[www.ge.com/jp/miyagi](http://www.ge.com/jp/miyagi)



宮城県 県章

# Citizenship

地域とひとつになり、ともに生きる、  
企業市民であること。

## Diversity

### GEが重視するダイバーシティ(多様性)

GEには、国籍、性別、肌の色、宗教などに関わらず、一人ひとりが個人として尊重される風土があり、自己実現や成長の機会に満ちています。こうしたダイバーシティを重視し、多様な価値観や視点を平等に取り入れることで議論が活発になり、より多くのアイデアや新しい商品・サービスが生まれ、グローバル企業としての成長力となっています。

### 女性の成長をサポートするWomen's Network

プロフェッショナルな女性の成長を促すための情報提供やトレーニング、ネットワーキング・イベントなどを通じて、女性のリーダーシップ、昇進、キャリア開発を積極的にサポートしています。活動には女性だけでなく男性社員も加わり、多様化する職場環境とライフイベントの中で、幅広い視点に基づく活動を展開しています。

### 誰もが快適な職場環境へ…バリアフリー・ネットワーク

障害の有無を意識しない心のバリアフリーの実現のために日本GEで立ち上げられたコミュニティ。社内のセミナー開催や情報配信、日常生活に深く関係している手話や点字、車椅子などを通して障害について学ぶ機会を提供し、GEで働く全ての人にとって、より良い職場環境をつくり、共に成長していくことを目的としています。2011年からは、聴導犬の育成支援活動も行っています。

## Integrity

### GE原動力となるインテグリティ(誠実さ)

私たちが「世界でもっとも賞賛される企業」のひとつとして評価されている理由。それは、常に法と倫理を遵守し、誠実さを持ってビジネスに取り組む姿勢にあります。全社員が大切にしているこの行動規範こそが、GEをさらなる成長に導く原動力であると信じています。GE社員は入社時に「常にゆるぎないインテグリティを持って」と書かれたハンドブック「スピリット&レター」を手渡されます。そこに込められた精神を守り抜くことを誓ってこそ、はじめてGEの社員として認められるのです。



## Volunteer

### 全世界に広がるGEボランティア

私たちは、「教育」、「環境」、「地域開発」の3つを柱に、GEらしい、GE社員ならではのボランティア活動を全世界で推進しており、46か国以上で組織された約180のボランティア委員会の活動に、社員や退職者が参加しています。この活動時間の総計は年間あたり100万時間以上。日本でも、毎年30以上のプロジェクトに約3,500名の社員が参加し、積極的に社会貢献に取り組んでいます。

### 「発明家になろう」プロジェクト

GE社員が小学生たちとチームを組んで町を歩いて「環境」「健康」などをテーマにした町の課題を発見し、その解決策を考えて発表する活動です。日本で2003年から継続して行っており、2010年度は約600名の社員と約1,300名以上の小学生が参加。優秀な解決策を提案したチームには表彰状が贈られました。



### ピンクリボン活動への参画

乳がんの早期発見、早期診断、早期治療を推進するピンクリボン活動に、積極的に参画しています。ウォーキングイベントや講演会、マンモグラフィー検診車の派遣など、様々な啓蒙活動を通して、乳がんの知識や乳がん検診への意識向上を図っている他、独自のherSource活動を立ち上げ、乳がん死亡率低下の実現にむけて取り組んでいます。